

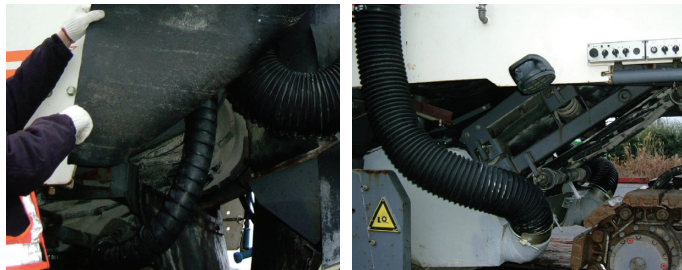
汚損原因の切削粉塵を高吸引し、近隣住宅への配慮を。



車載型粉塵吸引装置



自走型粉塵吸引装置



吸塵パイプ

切削機の実環境対策装置

舗装版（特にコンクリート版）切削時に多量に発生する粉塵が通行車両、近隣の方々に対して多大な迷惑や環境に悪影響を与える場合が多く洗濯物や車両等の汚損による苦情や、視界不良による通行車両の事故が懸念されます。最近特に建設業のイメージアップ向上及び近隣住民対策として、元請様の要請により、当社は集塵ホースを人力で支えながら切削機が発生する粉塵を吸引する作業を試行錯誤しながら実施してきた経緯があります。しかし、切削機に頼られるかもしれない等の安全上の問題や、粉塵吸引効率が非常に低い等の問題を常に抱えておりました。この諸問題を解決すべく開発したのが、切削機の発生する粉塵吸引装置です。

切削機の発生する粉塵吸引装置概要

- 1: 吸引装置は粉塵発生源の切削ドラム部分両端、及び切削廃材が第1ベルトコンベアーから第2ベルトコンベアーに排出される部分の3箇所粉塵を吸引します。
- 2: 切削吸引作業中には吸引装置に作業員は近づく必要はありません。（通常の切削作業）
- 3: 切削機は吸引装置を付けたままで回送が可能です。（取り外し不要）
- 4: 切削時は切削機が発電機（120KVA）及び集塵機を積載した4トラック（運転者乗車）をニュートラル状態で牽引しながら

ら切削しますので切削速度に車両速度を合わせる必要があります。（粉塵吸引能力が非常に大きいので切削スピードに対して制約はありません）

- 5: 集塵機、発電機を積載した4トラックも牽引ワイヤー、集塵ホース（10m程度）を収納するだけですぐに走行が可能です。
- 6: 集塵機はショットブラストで永年実績のあるDC-10を改良したDC-10改（吸引風量75m³/min）を使用して、粉塵量1.5m³まで連続作業が可能です。（施工面積で500～800m²が連続施工可能です、集塵機が一杯になったら大型土嚢に15分程度で排出して再施工となります）
- 7: 集塵機（DC-10改）は移動式タイプの集塵機としては国内最大能力、容量の機種です。
- 8: 1列目の切削が終了し切削機がバックする場合は4トラックの牽引ワイヤーのシャックルを取り外し、また集塵ホースを切削機の連結部分よりワンタッチで切り離し、4トラックバンパー前部の収納フックに格納して、すぐに後退できます。（切削機の後退準備時間内の3分程度で十分可能です）
- 9: 動力源の発電機騒音は環境対策型の発電機を使用しています。（切削機の騒音で市街地の夜間作業でも殆ど気になりません）

以上市街地での切削作業で、粉塵対策が必要な場所や、トンネル内作業時の視界不良での事故が懸念される場所での活躍が期待されます。

当社は皆様が安心、安全に通行できることを願っております。